

経済・金融 フラッシュ

商業販売統計 10年5月 ～小売業は、前月比で5ヵ月ぶりに減少

経済調査部門 研究員 桑島 滋
TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 小売業は、前月比で5ヵ月ぶりに減少

6月28日に経済産業省から公表された10年5月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比2.8%の11兆440億円と、5ヵ月続けて増加したものの、季節調整済前月比では▲2.0%と5ヵ月ぶりの減少となった。物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では前年比3.1%と、12ヵ月連続の増加となったが前月に比べて伸びは縮小した。

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

| | 小売業 | | | | | | | | コンビニエンスストア販売額 | |
|-------|------|------|-------|----------|-------|----------|------|----------|---------------|----------|
| | 前月比 | 前年比 | 大型小売店 | | | | スーパー | | 前年比 | 前年比(既存店) |
| | | | 前年比 | 前年比(既存店) | 百貨店 | | 前年比 | 前年比(既存店) | | |
| | | | | | 前年比 | 前年比(既存店) | | | | |
| 09年3月 | ▲0.8 | ▲3.8 | ▲6.7 | ▲8.2 | ▲13.3 | ▲12.9 | ▲2.1 | ▲4.9 | 5.8 | 3.6 |
| 4月 | 0.5 | ▲2.8 | ▲5.0 | ▲6.7 | ▲12.0 | ▲11.3 | ▲0.8 | ▲3.9 | 6.5 | 4.0 |
| 5月 | 0.1 | ▲2.7 | ▲4.5 | ▲6.4 | ▲12.7 | ▲12.1 | 0.5 | ▲3.0 | 3.0 | 0.6 |
| 6月 | ▲0.1 | ▲2.9 | ▲5.2 | ▲6.8 | ▲10.1 | ▲9.1 | ▲2.2 | ▲5.4 | 0.6 | ▲2.0 |
| 7月 | 0.4 | ▲2.4 | ▲7.0 | ▲8.4 | ▲12.8 | ▲11.8 | ▲2.9 | ▲6.0 | ▲5.3 | ▲7.7 |
| 8月 | 0.5 | ▲1.8 | ▲5.0 | ▲6.8 | ▲10.3 | ▲8.9 | ▲2.3 | ▲5.7 | ▲3.3 | ▲5.9 |
| 9月 | 0.6 | ▲1.3 | ▲4.2 | ▲5.6 | ▲9.5 | ▲7.8 | ▲1.1 | ▲4.3 | ▲2.5 | ▲5.8 |
| 10月 | ▲0.6 | ▲1.0 | ▲6.4 | ▲7.2 | ▲12.3 | ▲10.6 | ▲2.7 | ▲5.2 | ▲3.1 | ▲5.9 |
| 11月 | 0.0 | ▲1.1 | ▲9.0 | ▲9.7 | ▲13.5 | ▲11.8 | ▲6.1 | ▲8.3 | ▲3.9 | ▲6.7 |
| 12月 | ▲0.3 | ▲0.2 | ▲4.2 | ▲4.6 | ▲7.0 | ▲5.1 | ▲2.3 | ▲4.3 | ▲3.0 | ▲5.9 |
| 10年1月 | 2.0 | 2.3 | ▲5.1 | ▲5.7 | ▲7.4 | ▲5.7 | ▲3.7 | ▲5.7 | ▲2.6 | ▲5.6 |
| 2月 | 0.9 | 4.2 | ▲3.4 | ▲4.0 | ▲7.4 | ▲5.3 | ▲1.2 | ▲3.3 | ▲2.1 | ▲5.2 |
| 3月 | 0.8 | 4.7 | ▲4.1 | ▲4.9 | ▲5.6 | ▲3.6 | ▲3.2 | ▲5.6 | ▲2.2 | ▲4.9 |
| 4月 | 0.5 | 4.9 | ▲3.1 | ▲3.7 | ▲6.0 | ▲3.7 | ▲1.5 | ▲3.7 | ▲1.9 | ▲4.5 |
| 5月 | ▲2.0 | 2.8 | ▲3.4 | ▲4.0 | ▲4.1 | ▲2.1 | ▲3.0 | ▲5.1 | ▲1.0 | ▲3.8 |

(資料)経済産業省「商業販売統計」

業種別では、飲食料品小売業が前年比▲0.4%と5ヵ月ぶりに減少した結果、公表されている7業種中3業種で減少となった。また、自動車小売業が前年比13.3%(4月:19.5%)、機械器具小売業が前年比5.8%(4月:13.8%)と高い伸びを維持したものの、エコカー減税、エコポイントなどの政策効果が一巡しつつあることから増加幅は前月から縮小した。寄与度別では、自動車小売業が1.4%、燃料小売業が1.7%、機械器具小売業が0.3%消費を押し上げた。

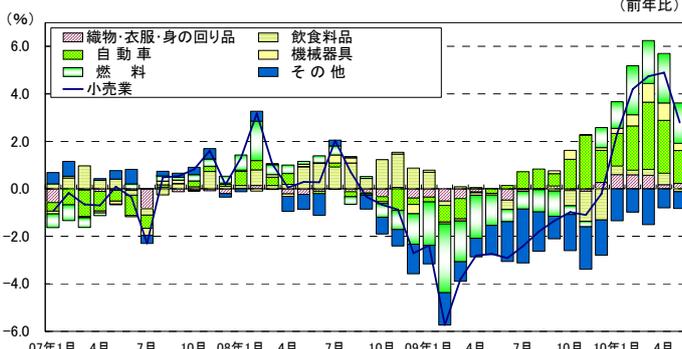
小売販売額の推移



(資料)経済産業省「商業販売統計」

(注)実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道」を除いたもの)により実質化

小売業販売額(業種別寄与度)



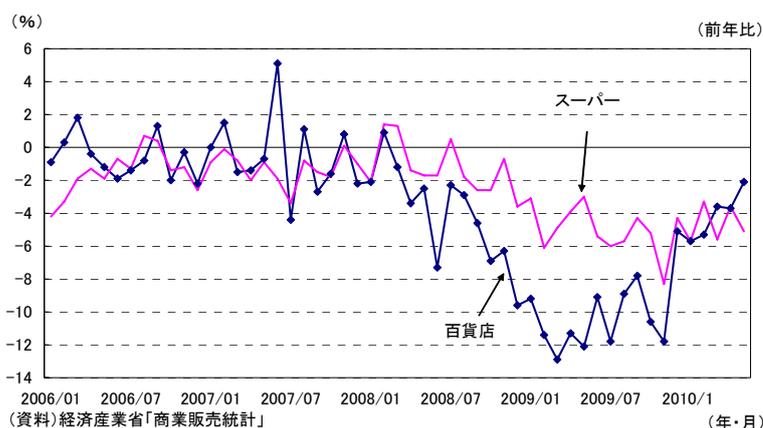
(資料)経済産業省「商業販売統計」

2. 下げ止まりつつある百貨店

10年5月の大型小売店の販売額（百貨店とスーパーの合計）は1兆5631億円、既存店ベースで前年比▲4.0%となり、26ヵ月連続して前年を下回った。スーパーでは前月から減少幅が拡大するなど、引き続き厳しい状況が続いているものの、百貨店では前月から減少幅が縮小しており、このところ下げ止まりつつある。

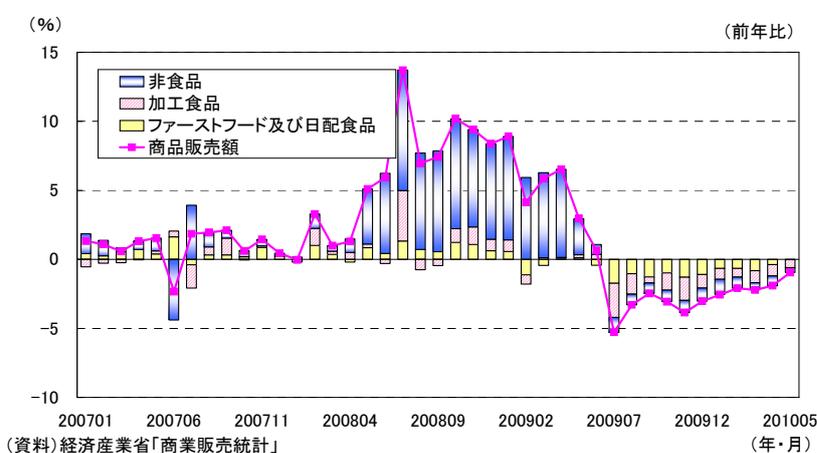
百貨店販売額（既存店）を商品別にみると、紳士服・洋品が前年比▲2.9%、（4月：同▲8.6%）、婦人・子供服・洋品が前年比▲1.8%（4月：同▲6.9%）となるなど、販売額の4割強を占める衣料品全体で若干減少幅が縮小（4月：前年比▲6.5%⇒5月：同▲2.5%）した。一方、その他の商品では、家庭用電気機械器具が前年比▲12.9%（4月：同4.4%）と3ヵ月ぶりに減少したのに加え、飲食料品（4月：前年比0.4%⇒5月：同▲2.5%）も減少に転じた。

百貨店及びスーパー販売額推移(既存店ベース)



コンビニエンスストア販売額（商品販売額及びサービス売上高）は6703億円、前年比▲0.8%（全店ベース）と11ヵ月連続して減少している。減少幅は2ヵ月続けて縮小した。商品別では非食品（前年比▲1.1%、4月：同▲2.1%）、ファーストフード及び日配食品（前年比▲0.1%、4月：同▲1.1%）、加工食品（前年比▲1.8%、4月：同▲2.6%）のいずれも減少幅が縮小した。

コンビニエンスストア商品販売額(全店ベース 寄与度)



最近の個人消費は、回復基調は維持しているものの、エコポイント、エコカー減税等の政策効果が徐々に一巡しつつあることから回復ペースはやや鈍化しつつある。先行きについては、政策効果が薄まることが懸念されるものの、消費者態度指数が5ヵ月連続して上昇するなど、消費者マインドが改善傾向となっていること、雇用・所得環境に改善の兆しが見え始めていること、子ども手当の支給により消費の押し上げが見込まれることなどから緩やかな回復が続く公算が大きい。